

令和3年度 第1回大衡村総合教育会議

日時： 令和3年12月24日(金)

午後3時00分から

場所： 役場2階会議室

次 第

1. 開 会

2. 挨拶 大衡村長 萩原達雄

3. 協 議

(1)「教育振興に関する施策の大綱」の策定(見直し)について

(2)令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

(3)大衡塾の状況について

(4)令和3年度社会教育事業等について

4. 閉 会

令和3年度第1回大衡村総合教育会議出席者名簿

所属	役職	氏名	備考
大 衡 村	村長	萩原達雄	
大 衡 村	総務課長	佐野克彦	
大 衡 村	総務課主事	澁谷優奈	

所属	役職	氏名	備考
大衡村教育委員会	教育長	齋藤 浩	
大衡村教育委員会	教育長職務代行者	渡邊 勇	
大衡村教育委員会	教育委員	齋藤さと子	
大衡村教育委員会	教育委員	文屋 栄悦	
大衡村教育委員会	教育委員	佐竹 由加	
大衡村教育委員会	学校教育課長	森田 祐美子	
大衡村教育委員会	学校教育課参事	岩 渕 克洋	
大衡村教育委員会	社会教育課長	大 沼 善 昭	
大衡村教育委員会	学校教育課 課長補佐	布 施 智 宏	
大衡村教育委員会	社会教育課 課長補佐	浅野めぐみ	

令和3年度 第1回総合教育会議資料

1. 教育振興に関する施策の大綱（平成28年2月策定）（資料1）
教育振興に関する施策の大綱（見直し案）（資料2）
「教育振興に関する施策の大綱」新旧対照表（資料3）
2. 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について（小学校）（資料4）
令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について（中学校）（資料5）
3. 大衡塾開催状況について（資料6）
4. 令和3年度社会教育事業等について（資料7）

令和3年12月24日

教 育 委 員 会



教育振興に関する施策の大綱

～みんなで学び， みんなで育む， 生涯学べるまちづくり～

平成 2 8 年 2 月

大 衡 村

まちづくりの将来像

共に育み 共に創り 共に生きる

愛と活力にあふれたまちづくり

四季折々に多彩な姿を見せる山々や「万葉の森」「達居森」に代表される自然環境や永年培われてきた歴史や伝統・文化など誇るべき財産を守り大衡村が確実に前進し、村民一人ひとりが物理的な豊かさはもちろんのこと、主役である村民と・企業・行政との協働によりみんなが明るく元気に暮らせるまちづくりを目指します。

教育大綱の基本理念

みんなで学び、みんなで育む、生涯学べるまちづくり

村民一人ひとりが生きがいのある人生をおくることができるように、総合的な学習環境の整備を進めます。また、郷土を愛する心豊かな人材を育成するため、郷土教育の充実を図ります。

学校教育と社会教育の活性化を推進し、地域ぐるみで子どもの教育や青少年の健全育成など地域教育の充実を図ります。

また、国際化や高度情報化に対応した語学教育や情報教育を充実させ、新時代に即応できるような人材の育成を図ります。

さらに、これまでの村の伝統や文化の保護・継承を郷土教育とともに進めながら新たなコミュニティの形成を図ります。

また、健康増進を目的としたスポーツ・レクリエーション活動ができる施設の維持管理や、住民による自主的な各種競技への参加活動への支援を図ります。

基本目標

I 「学校教育の充実」

子どもたちの学ぼうとする意欲を支援し、個性や能力を活かした教育環境の充実を進めます。

II 「社会教育の充実」

生涯学習への参加意欲向上を図るため、学習機会の拡充と学習施設の充実、継続的な学習プロセスづくりといった活動メニューの検討などに努めます。

計画の期間

計画の期間は平成 27 年度～平成 31 年度までの 5 年間。

最終年度を第五次大衡村総合計画（H22 年度～H31 年度）」に合わせています。

基本施策

I 「学校教育の充実」

- ①心豊かな児童・生徒の育成と特色ある学校づくりの推進
- ②基礎基本の定着を図る学習指導の推進
- ③家庭や地域との協働した教育活動の推進
- ④教職員の資質及び指導力の向上
- ⑤教育施設等の整備充実
- ⑥防災教育の充実
- ⑦ICT教育の充実

II 「社会教育の充実」

- ①社会教育の推進体制の充実強化及び社会教育施設の整備充実
- ②ライフステージに応じた学習事業の充実
- ③家庭や地域の教育力の向上
- ④青少年健全育成とボランティア活動の推進
- ⑤魅力ある芸術文化活動の推進
- ⑥生涯スポーツの推進と充実

まちづくりの将来像

新しい時代につなぐ豊かな万葉の里・おおひら

～みんなで支え 笑顔で暮らせる まちづくり～

豊かな自然に包まれ、各地区においては住民同士がふれ合いながら地区活動を展開し、良好なコミュニティが育まれています。人口減少や少子高齢化が懸念される中、村に関わるみんなで支え合い、村全体でのコミュニティづくりを展開し、子どもや若者世代、高齢者、障害者等の全世代・多様な人々が村全体で交流することができ、これからも笑顔で暮らせるまちづくりを目指します。

教育大綱の基本理念

みんなが支え、子どもがたくましく育つまちづくり

村民一人ひとりが希望をいただき健康で豊かな人間の育成と魅力ある「万葉の里おおひら」をめざし教育環境の整備を進めます。また、郷土を愛する心豊かな人材を育成するため、郷土教育の充実を図ります。

学校教育と社会教育の活性化を推進するとともに、地域の力を活用し地域と学校との交流や青少年の健全育成など地域の教育力の充実を図ります。

また、国際化や高度情報化に対応した語学教育や情報教育を充実させ、時代のニーズに対応できるような人材の育成を図ります。

さらに、これまでの村の伝統や文化の保護・継承を郷土教育とともに進めながら新たなコミュニティの形成を図ります。

また、健康増進を目的としたスポーツ・レクリエーション活動ができる施設の維持管理や、住民による自主的な各種競技への参加活動への支援を図ります。

基本目標

I 「学校教育の充実」

子どもたちの学ぼうとする意欲を支援し、個性や能力を伸ばす教育環境の充実を進めます。

II 「社会教育の充実」

生涯学習への参加意欲向上を図るため、学習機会の拡充と学習施設の充実、継続的な学習プロセスづくりといった活動メニューの検討などに努めます。

計画の期間

計画の期間は令和4年度から令和6年度までの3年間

基本施策

I 「学校教育の充実」

- ①心豊かな児童・生徒の育成と特色ある学校づくりの推進
- ②基礎基本の定着を図る学習指導の推進
- ③家庭や地域との協働した教育活動の推進
- ④教職員の資質及び指導力の向上
- ⑤教育施設等の整備充実
- ⑥防災教育の充実
- ⑦ICT教育の充実

II 「社会教育の充実」

- ①社会教育の推進体制の充実強化及び社会教育施設の整備充実
- ②ライフステージに応じた学習事業の充実
- ③家庭や地域の教育力の向上
- ④青少年健全育成とボランティア活動の推進
- ⑤魅力ある芸術文化活動の推進
- ⑥生涯スポーツの推進と充実

「教育振興に関する施策の大綱」新旧対照表

現行 (H27 年度～H31 年度)	変更後 (案) (R4 年度～R6 年度)
<p>まちづくりの将来像</p> <p>共に育み 共に創り 共に生きる 愛と活力にあふれたまちづくり</p> <p>四季折々に多彩な姿を見せる山々や「万葉の森」「達居森」に代表される自然環境や永年培われてきた歴史や伝統・文化など誇るべき財産を守り大層村が確実に前進し、村民一人ひとりが物理的な豊かさほもちろんのこと、主役である村民と・企業・行政との協働によりみんなが明るく元気に暮らせるまちづくりを目指します。</p>	<p>まちづくりの将来像</p> <p>新しい時代になぐ豊かな万葉の里・おおひら ～みんなので支え 笑顔で暮らせる まちづくり～</p> <p>豊かな自然に生まれ、各地区において住民同士がふれ合いながら地区活動を展開し、良好なコミュニティが育まれています。人口減少や少子高齢化が懸念される中、村に関わるみんなので支え合い、村全体でのコミュニケーションづくりを展開し、子どもや若者世代、高齢者、障害者等の全世代・多様な人々が村全体で交流することができ、これからも笑顔で暮らせるまちづくりを目指します。</p>
<p>教育大綱の基本理念</p> <p>みんなので学び、みんなので育む、生涯学べるまちづくり</p> <p>村民一人ひとりが生きがいのある人生をおくることができ、総合的な学習環境の整備を進めます。 また、郷土を愛する心豊かな人材を育成するため、郷土教育の充実を図ります。 学校教育と社会教育の活性化を推進し、地域ぐるみで子どもの教育や青少年の健全育成など地域教育の充実を図ります。 また、国際化や高度情報化に対応した語学教育や情報教育を充実させ、新時代に即応できるような人材の育成を図ります。 さらに、これまでの村の伝統や文化の保護・継承を郷土教育とともに進めながら新たなコミュニティの形成を図ります。 また、健康増進を目的としたスポーツ・レクリエーション活動ができる施設の維持管理や、住民による自主的な各種競技への参加活動への支援を図ります。</p> <p>基本目標</p> <p>I 「学校教育の充実」</p> <p>子どもたちの学ぼうとする意欲を支援し、個性や能力を活かした教育環境</p>	<p>教育大綱の基本理念</p> <p>みんなが支え、子どもがたくましく育つまちづくり</p> <p>村民一人ひとりが希望をいただき健康で豊かな人間の育成と魅力ある「万葉の里おおひら」をめざし教育環境の整備を進めます。また、郷土を愛する心豊かな人材を育成するため、郷土教育の充実を図ります。 学校教育と社会教育の活性化を推進するとともに、地域の力を活用し地域と学校との交流や青少年の健全育成など地域の教育力の充実を図ります。 また、国際化や高度情報化に対応した語学教育や情報教育を充実させ、時代のニーズに対応できるような人材の育成を図ります。 さらに、これまでの村の伝統や文化の保護・継承を郷土教育とともに進めながら新たなコミュニティの形成を図ります。 また、健康増進を目的としたスポーツ・レクリエーション活動ができる施設の維持管理や、住民による自主的な各種競技への参加活動への支援を図ります。</p> <p>基本目標</p> <p>I 「学校教育の充実」</p> <p>子どもたちの学ぼうとする意欲を支援し、個性や能力を伸ばす 教育環境</p>

の充実を進めます。

II 「社会教育の充実」

生涯学習への参加意欲向上を図るため、学習機会の拡充と学習施設の充実、継続的な学習プログラムづくりといった活動メニューの検討などに努めます。

計画の期間

計画の期間は平成27年度～平成31年度までの5年間。

最終年度を第五次大衡村総合計画（H22年度～H31年度）に合わせています。

基本施策

I 「学校教育の充実」

- ① 心豊かな児童・生徒の育成と特色ある学校づくりの推進
- ② 基礎基本の定着を図る学習指導の推進
- ③ 家庭や地域との協働した教育活動の推進
- ④ 教職員の資質及び指導力の向上
- ⑤ 教育施設等の整備充実
- ⑥ 防災教育の充実
- ⑦ ICT教育の充実

II 「社会教育の充実」

- ① 社会教育の推進体制の充実強化及び社会教育施設の整備充実
- ② ライフステージに応じた学習事業の充実
- ③ 家庭や地域の教育力の向上
- ④ 青少年健全育成とボランティア活動の推進
- ⑤ 魅力ある芸術文化活動の推進
- ⑥ 生涯スポーツの推進と充実

の充実を進めます。

II 「社会教育の充実」

生涯学習への参加意欲向上を図るため、学習機会の拡充と学習施設の充実、継続的な学習プログラムづくりといった活動メニューの検討などに努めます。

計画の期間

計画の期間は令和4年度から令和6年度までの3年間

基本施策

I 「学校教育の充実」

- ① 心豊かな児童・生徒の育成と特色ある学校づくりの推進
- ② 基礎基本の定着を図る学習指導の推進
- ③ 家庭や地域との協働した教育活動の推進
- ④ 教職員の資質及び指導力の向上
- ⑤ 教育施設等の整備充実
- ⑥ 防災教育の充実
- ⑦ ICT教育の充実

II 「社会教育の充実」

- ① 社会教育の推進体制の充実強化及び社会教育施設の整備充実
- ② ライフステージに応じた学習事業の充実
- ③ 家庭や地域の教育力の向上
- ④ 青少年健全育成とボランティア活動の推進
- ⑤ 魅力ある芸術文化活動の推進
- ⑥ 生涯スポーツの推進と充実

令和3年度全国学力・学習状況調査における大衡小学校の傾向について（お知らせ）

6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせいたします。大衡小学校児童の学習や生活の状況、よさや課題についてまとめました。学校としての取組、そして家庭学習や家庭で行っていただきたいことについて記載いたしました。ご家庭におかれましても、ぜひ、今後の参考にさせていただき、お子さんへの励ましやお声掛けをいただきますよう、お願いいたします。

1 本校第6学年児童の学力状況

(1) 国語について

平均正答率の比較

- 領域別の正答率では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」で県及び全国平均と同程度と言えます。「書くこと」「読むこと」において、県及び全国平均を下回りました。中でも「書くこと」では全国平均を大きく下回りました。
- 全国平均正答率と比較して、10ポイント以上下回った問題は以下の通りです。

設問番号(全14問)	出題の趣旨
3一	自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える
3二	目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方をくふうする

要因

- 自分の主張を明確に伝えるためには、筋道の通った文章であることが必要であり、文章全体の構成や展開を考えて書くことが重要です。文章全体の構成には、「頭括型、尾括型、双括型(※)」があるということを知識として習得できていないことが要因として考えられます。また、記述問題では、自分の考えとそれを支える理由とのつながりが明確になっていない解答が見られました。「なぜなら～」「理由は～」「～ので」「～から」などの理由を表す言葉を用いることや、理由に説得力を持たせる工夫（具体例を挙げること、反対意見を取り上げて述べること）ができていないことが要因として考えられます。他にも、問題をしっかり読んでいないこと、問題の意味を正しく読み取ることができていないこと、じっくり考えることが苦手で諦めてしまうこと、文章を読み慣れていないために解答時間が足りなくなること、このような形式（複数の条件を満たして記述）の問題に慣れていないことなども要因として考えられます。

(※文章構成において、主張を位置付ける箇所によって次の3つに分類される。冒頭部分に主張や考えをまとめたものを「頭括型」、主張や考えが最後にまとめてあるものを「尾括型」、冒頭部分に主張や考えを述べて、さらに最後にもまとめて強調してあるものを「双括型」という。)

(2) 算数について

平均正答率の比較

- 領域別では、「測定」で県平均を上回り全国平均と同程度でした。「数と計算」「図形」では県平均と同程度でしたが全国平均をやや下回りました。「変化と関係」「データの活用」では県及び全国平均を下回りました。
- 全国平均正答率と比較して、10ポイント以上下回った問題は以下の通りです。

設問番号(全16問)	出題の趣旨
3(3)	データを二次元の表に分類整理することができる

要因

- 二次元の表には、異なる項目間での関係について考察できるというよさがあり、目的に応じて集

めたデータを二つの観点から分類整理できるようにすることが重要です。データを二つの観点からそれぞれ「はい」「いいえ」の欄に分類整理する問題でしたが、二次元の表の二つの観点と、各欄の意味を理解できていないことが要因として考えられます。また、国語と共通する部分で、問題をしっかりと読んでいないこと、問題の意味を正しく読み取ることができていないことも要因として考えられます。

(3) 学力調査の傾向を踏まえた学校の取組

学力のさらなる向上を目指し、以下の活動を取り入れたり、増やしたりしています。

【国語科について】

(全学年共通)

- ・新出の漢字や言葉について、その意味や使い方を指導し、日常の中で使える語彙を増やす。
- ・文章を読む際、文章全体の構成を捉えた読み方を指導し、筆者の主張を確実に読み取らせる。
- ・指示語や接続詞等の文法を取り上げ、丁寧に指導する。
- ・表現の仕方やキーワードに着目した読み方を意識させる。
- ・条件を与えて考えを書かせる指導を行う（条件は学年に応じて、字数、行数、キーワード等）。
- ・読書活動を推進する（毎月15日は読書の日）。
- ・読み取り、言葉、作文や日記等、漢字以外の問題や課題などを加え、宿題の出し方を工夫する。
(高学年)
- ・漢字は、単語のみ反復するのではなく、文中で使わせ、同音異義語を使い分けられるようにする。

【算数科について】

(全学年)

- ・問題文に出てくる言葉の意味や条件を確実に読み取らせる。
- ・問題場面から読み取ったことを、図や絵、数直線などで書き表し、言葉で説明させる。
- ・これまで学習した内容を振り返り、生かしながら、考えさせる。
- ・学習した公式等は唱えたり類似問題を反復して解いたりすることで、確実に定着させる。
- ・その時学習している内容だけでなく、過去に学習した内容も宿題に出すようにする。

【その他（共通事項等）】

- ・問題の意味を捉えられるよう、アンダーラインや丸で囲ませるなどの指導を行う。
- ・分かったことを自分の言葉でまとめ、書かせる時間を確保する。
- ・「ふりかえり」を大切にしたい取組を継続する。

☆ 本校は今年度、全ての教科の土台となる国語科の指導に重点を置いて研修を進めています。児童の学力向上のため、教員のさらなる授業力向上を目指し、校内研修を進めていきます。

(4) 学力調査の傾向を踏まえた家庭学習のお願い

家庭学習においては、以下の取組にご協力ください。

【国語科について】

- ・つまづかないですらすら音読する。 ※聞いてあげてください。
- ・場面を思い浮かべたり、内容を確かめたりしながら音読する。
- ・漢字の書き取りを丁寧に行う。
- ・意味の分からない言葉は、国語辞典で調べる習慣を付ける。
- ・進んで読書をする習慣を付ける（毎月15日は読書の日）。

【算数科について】

- ・問題文をしっかりと読む。
- ・定規を使って丁寧に計算式を書いたり、作図したりする。
- ・問題を解き終えたら、見直しをする。
- ・間違えたら、もう一度やり直す。分からない場合は、教科書やノートを見て振り返り、確認する。

【その他】

学習したことを定着させるためには家庭学習での反復が大切になります。本校では以下の目標を掲げて取り組んでいます。ご家庭でもお声掛け下さい。

(低学年)

- ・学校から出される宿題に毎日確実に取り組む(家庭学習時間20分以上)。

(中学年)

- ・宿題の他に、復習を中心として自主学習に取り組む(家庭学習時間40分以上)。

(高学年)

- ・宿題の他に、復習を中心として自主学習に工夫して取り組む(家庭学習時間60分以上)。

2 学習状況調査(生活習慣や学習に関する意識・実態の調査)の結果

※全69問の中から、傾向が顕著なものは以下の通りです。

<好ましい傾向>

設問番号	質問項目
(24)	今住んでいる地域の行事に参加していますか
(45)	国語の授業の内容はよく分かりますか

- 「今住んでいる地域の行事に参加している」という回答が、全国平均を上回っています。ご家庭や地域の方々のお声掛けやご協力によるものであり、大衡村のよさと考えます。地域と結びつくことは、児童の主体性や社会性を育みます。学校・家庭・地域全体が連携し、社会全体で児童を見守り育てていくための環境づくりの一つとして、これからも積極的に地域の行事への参加を促していただければと思います。また、「国語の授業の内容はよく分かる」という回答が全国平均を上回っています。三年間継続して校内研究で国語に取り組んできた成果の表れを感じます。今後も職員一丸となって、児童が「できた」「分かった」と実感できる授業を目指してまいります。

<改善を要する傾向>

設問番号	質問項目
(6)	自分には、よいところがあると思いますか。
(12)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
(18)	学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。
(25)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることはありますか。
(27)	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。
(37)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり深めたりすることができていますか。
(42)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。
(61)	英語の勉強は好きですか。
(62)	5年生まで受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。

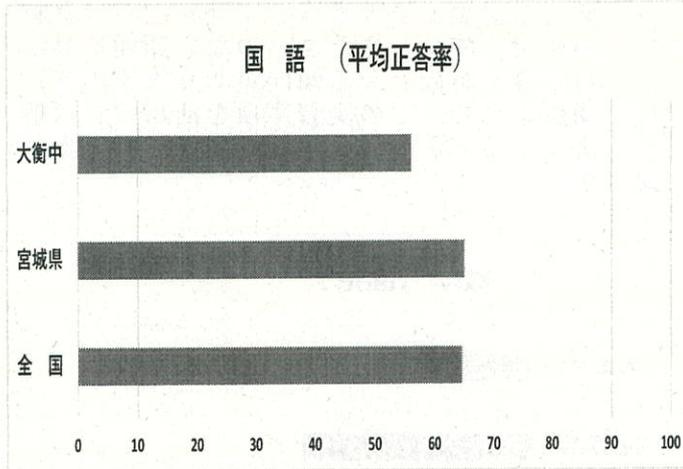
- 上記の項目において、全国平均を下回る回答となっています。自分の長所を知ることは、活動への意欲を高め、自信にもつながります。学校では各教科や道徳、学活の時間に「自己肯定感」を高められるよう、折に触れ褒めたり認めたり、子どもたちに寄り添い共感するように心掛けていきます。ご家庭でもできたことや頑張ったことは、その過程も含め、ぜひ褒めて認めてあげてください。また、考えを広げたり深めたりしながら学習できるよう、ICTを活用した調べ学習やグループ等で友達と話し合う活動を積極的に取り入れていきます。児童が充実した学校生活を送れるよう、授業に楽しんで取り組み定着が図られるよう、今後さらに工夫して取り組んでいきます。学校でのお子さんの様子をできるだけお伝えしてまいりますので、それをきっかけに学習や学校の出来事についてお子さんと話をする時間を持っていただくようお願いいたします。お気付きの点がありましたら、学校へお寄せいただき、保護者の皆様と手を取り合いながら子供たちの学力向上、健全育成に取り組んでいきます。今後とも学校の教育活動にご理解ご協力いただきますよう、お願いいたします。

令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

大衡村立大衡中学校

5月末に実施された全国学力・学習状況調査(3学年対象)の結果が公表されました。この結果を踏まえて、大衡中学校生徒の学習状況や生活の傾向、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

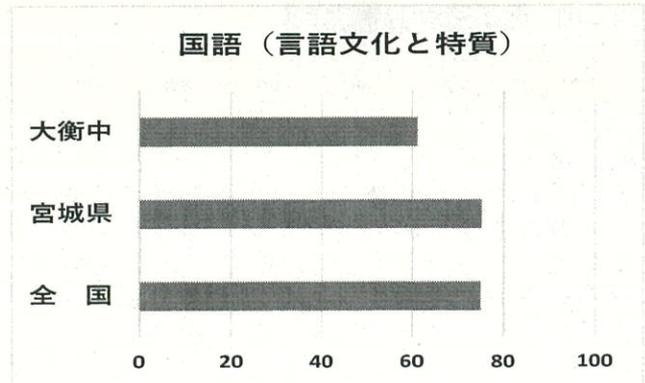
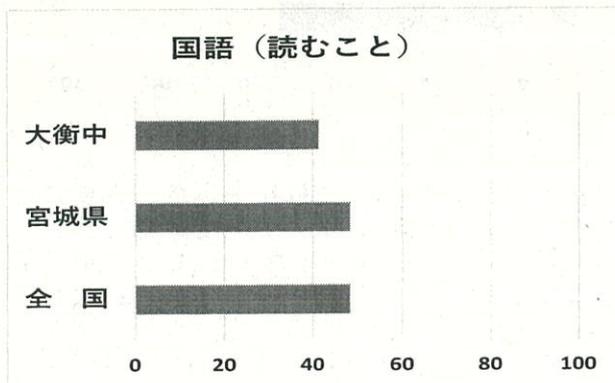
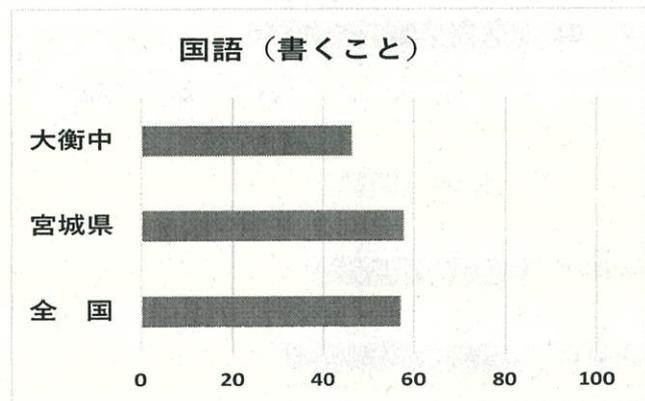
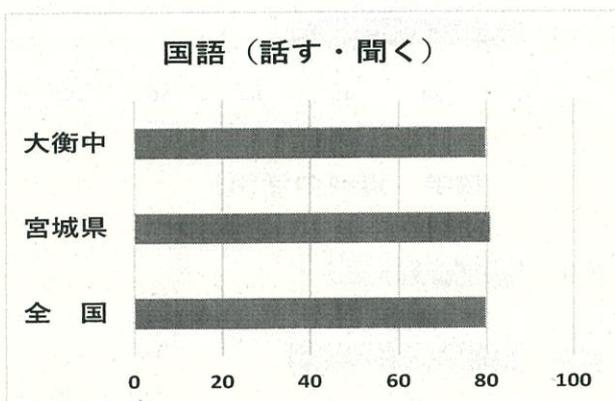
学力調査の結果 国語



【全体】

平均正答率は、県及び全国平均を下回る結果となりました。

領域別では、特に、「書く能力」については、県平均と比べても低い数値となっており、引き続き生徒の実態に応じて、書く力を伸ばす指導の工夫に努めていきます。具体的には、「自分の考えをノートに記述すること」や、「登場人物の気持ちを推測し文章にまとめること」等の活動を取り入れていくことが考えられます。校内研修等を行いながら、教師の授業力向上に努め、子どもたちの学力を高めていきます。

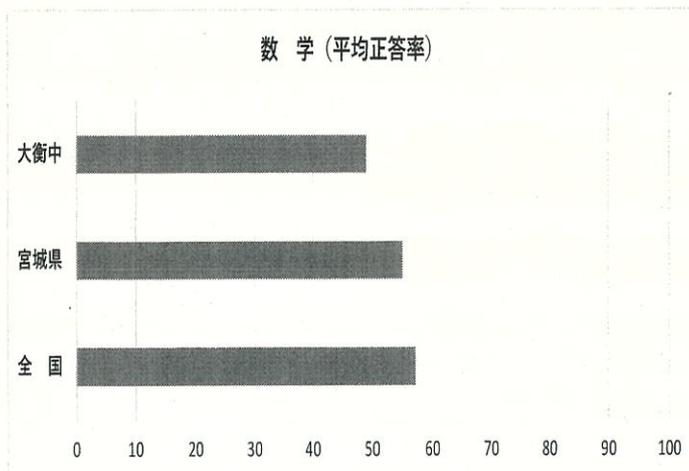


【特記事項】

「登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する」「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」などの設問で無回答率が高い結果となりました。また、自分の意見を述べるのが苦手な生徒が多く、仲間と少人数で意見交換をするなかで、自分の考えについて自信をもってまとめられるように工夫することが求められます。

また、「敬語を適切に使う」設問では「行く」を適切な敬語、「伺う」「参る」などの表現を用いる選択ができていない生徒が多い結果となりました。「先輩後輩の関係」「教師と生徒の関係」等で適切な敬語を用いることができるよう、授業以外の場面においても、意識を高めていきますので、ご家庭でも言葉遣い等について話題にいただければ幸いです。

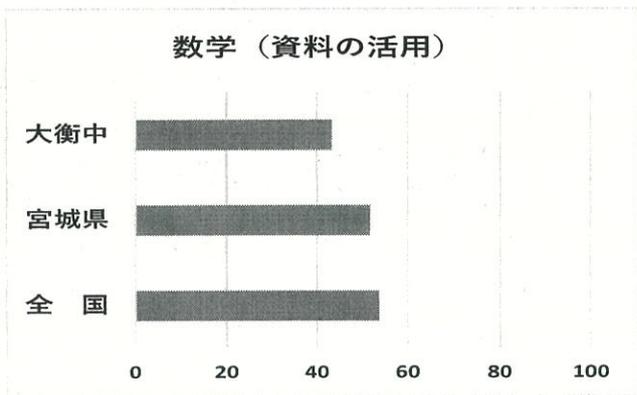
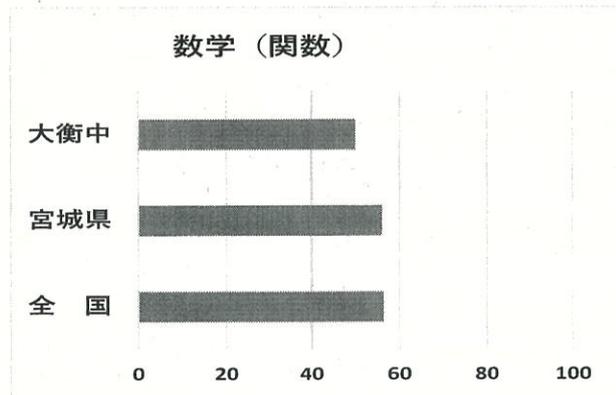
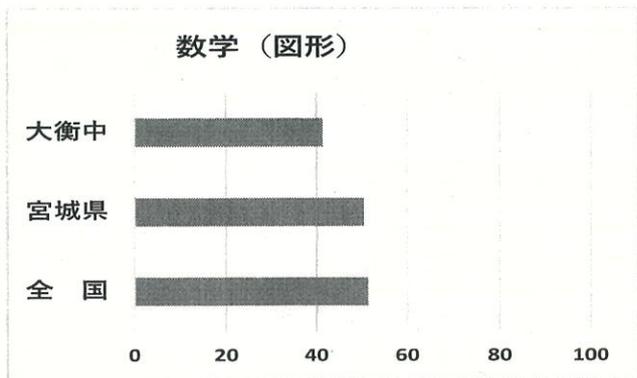
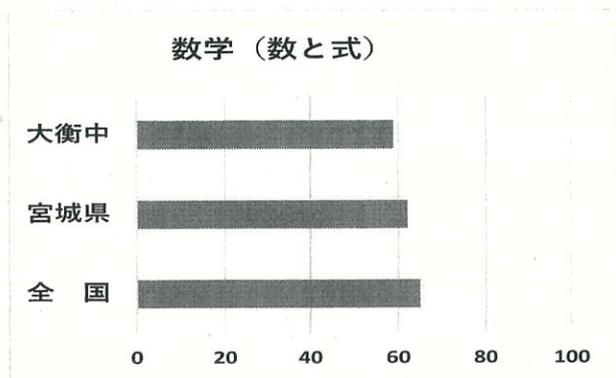
学力調査の結果 数学



【全体】

平均正答率は、県及び全国平均を下回る結果となりました。

特に「図形」領域と「資料の活用」領域では、県平均と比べて低い数値となっています。どちらの領域も年度の後半に扱う内容ですが、授業時数を確実に確保すること、要点をおさえた分かりやすい授業の実践に努める必要があります。「図形」や「資料の活用」では、見たことのない問題に対する正答率が低くなる傾向がありますので、問題を見て、どの既習事項を活用すれば解決できるのかという学習も継続していきます。



【特記事項】

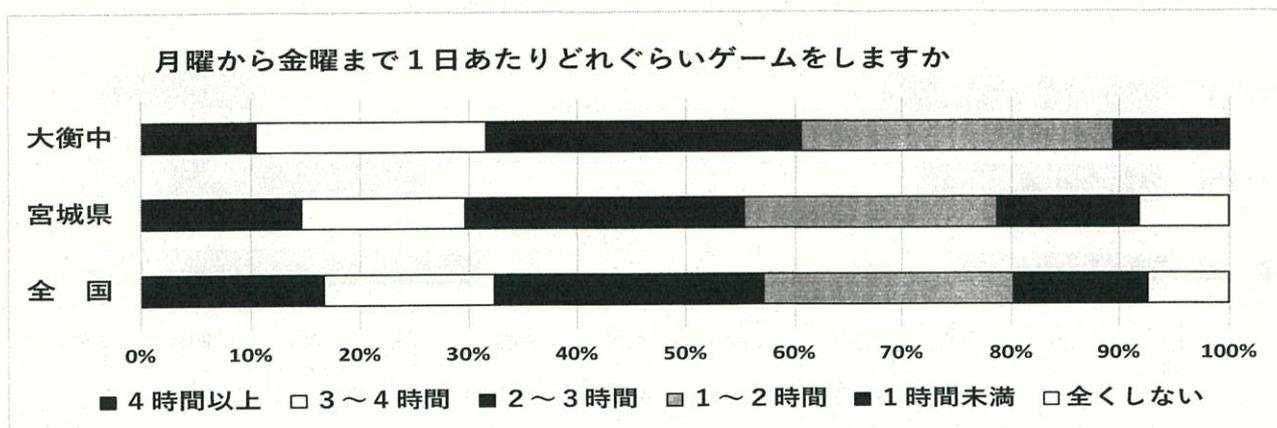
簡単な数学的な技能について確認する問題でも無回答率が高い傾向にありました。必要に応じて、既習事項の振り返りを行う等、数学が苦手な生徒にとっても学びやすい授業を行うように努めます。また、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる」設問でも無回答率が高く、文字式を変形しなければならない理由が理解できていない生徒が多いこともわかりました。文字式が表している数量関係について答える学習では、スモールステップで丁寧に指導を行い、理解を定着させていきます。

「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる」の設問では、グラフを正しく読み取り、答えを求めることができない生徒が多かったようです。身近な事象について、数学の表・式・グラフ等を用いて解決する問題は、数学的な思考力・判断力・表現力を高めますが、難易度が高い問題でもあります。今後も引き続きICTを有効に活用したり、生徒同士の学び合いを設定したりする等、授業の進め方を工夫していきます。

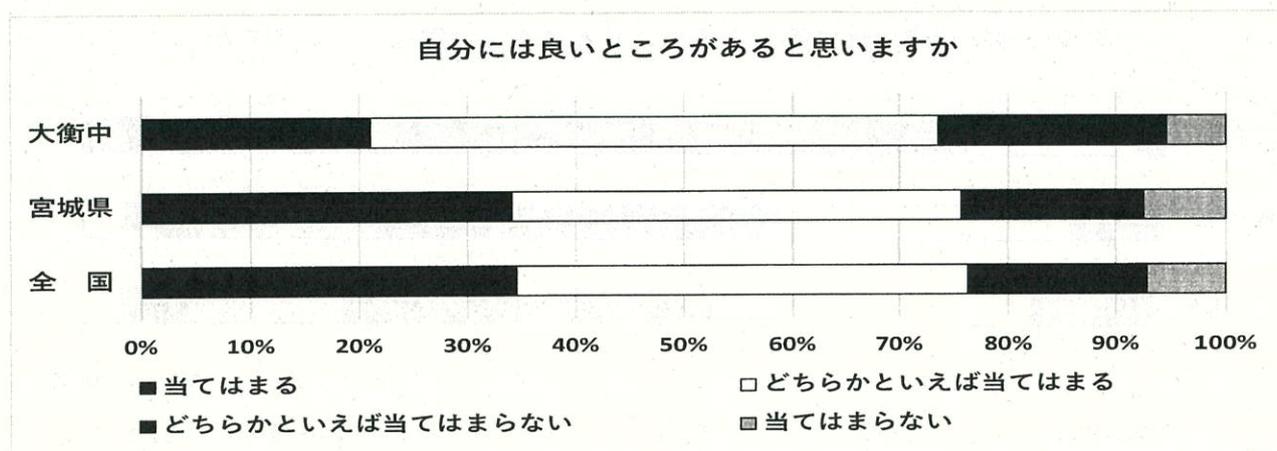
<全体的な取組>

国語、数学に限らず、全教科で毎時間、積極的にどの子供たちにも声をかけ、授業の始めに学習のねらいを明示し、学力の定着を図っていきます。また、その日の授業の振り返りをしつかりと行い、家庭学習の充実にもつながるよう今後も継続した声かけと指導を行っていきます。

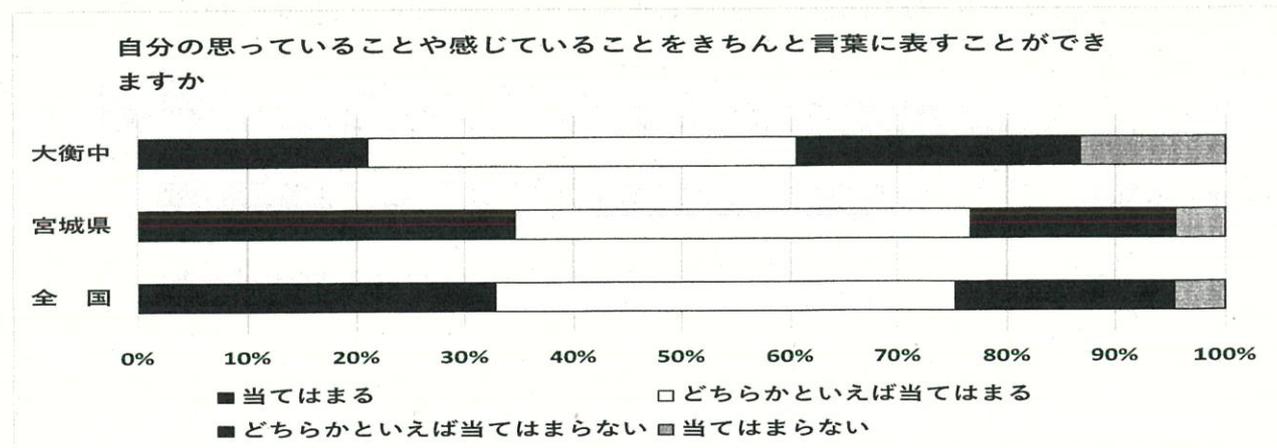
生活習慣や学習に関する意識・実態調査の結果



全体として、本校の生徒たちはテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）に費やす時間が多い傾向が読み取れます。ゲームやインターネット、スマホについては、生活リズムの乱れや家庭学習時間の減少につながるよう、ご家庭でのルールの確認等をよろしくお願いいたします。

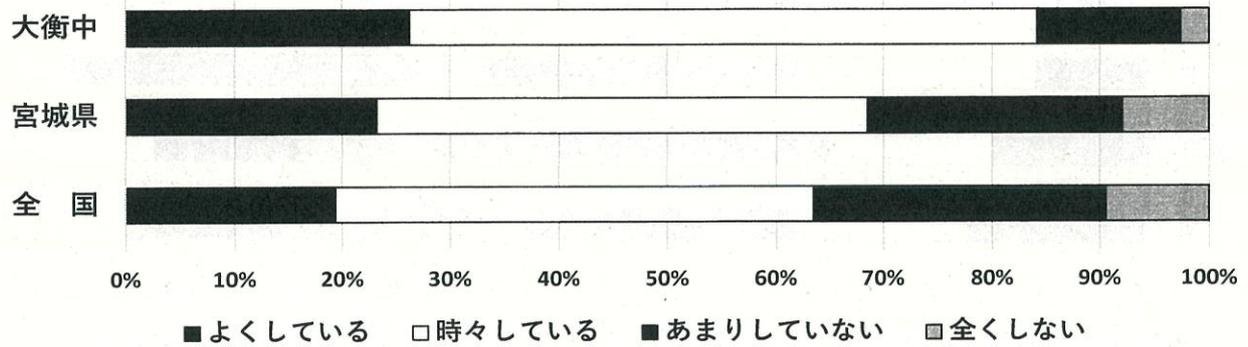


自信をもって「当てはまる」と回答している生徒が少ないです。今回の質問紙調査では、他の設問でも「当てはまる」と回答している生徒が少なく、「どちらかといえば当てはまる」と回答している生徒が多い傾向にあります。人と関わるなかで、自己有用感を高める場面を設定することや、生徒一人一人が学校行事等で活躍できる場面を引き続き設定していきたいと考えています。



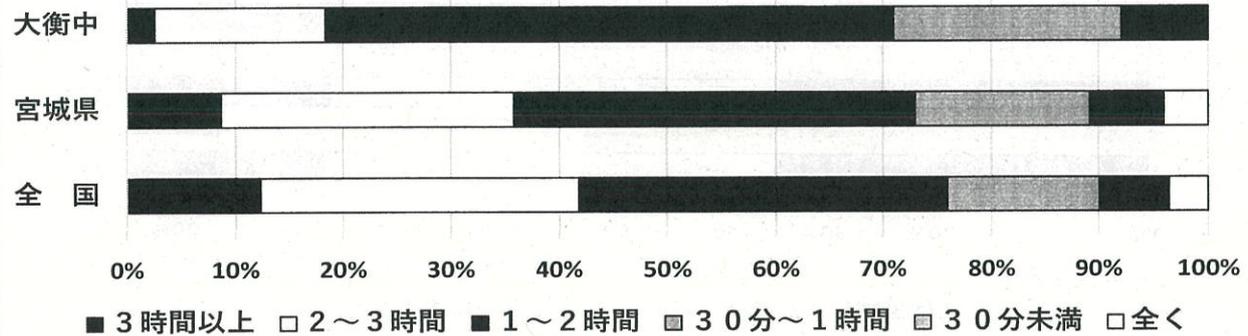
自分の思いを言葉に表すことは苦手な傾向にあることが分かりました。自尊感情が高められるように、学校としては、褒められる・認められる体験を多く積み重ねるように支援を続けていきます。また、授業においても生徒同士が互いに関わる場面を意図的に設定し、分からないことを聞き合い、学び合える雰囲気づくりを一層高めていきます。

家で自分で計画を立てて勉強している



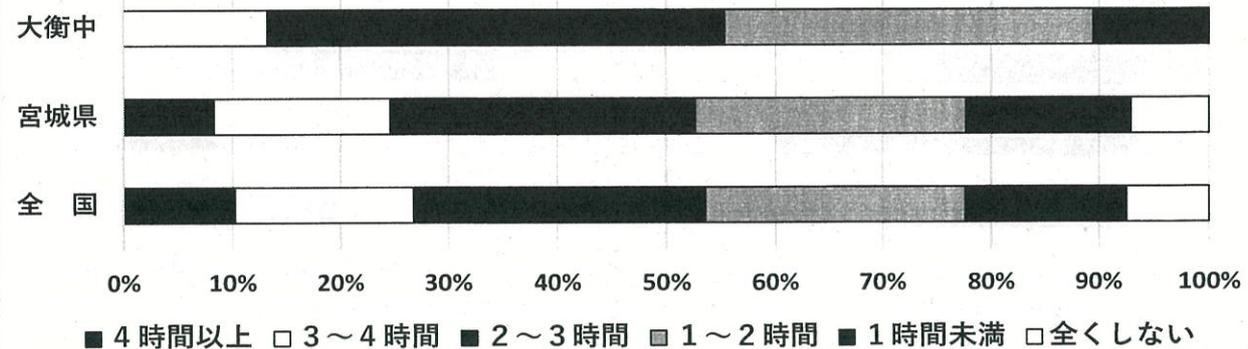
本校生徒は、「自分で計画を立てて勉強できている」と感じている生徒が多い結果でした。定期考査に向けての「テスト計画表」や長期休業に向けた「しおり」を有効に活用させて、さらに生徒が見通しを立てて自ら進んで学習に取り組めるようにしていきます。

学校の授業時間以外に平日1日あたりどれくらい勉強していますか



計画を立てて学習に取り組む生徒が多い一方で、学校以外の場所で、長時間学習に取り組む生徒は少ないという結果でした。「テストに向けて提出物が出ればよい」「宿題が終わればよい」という考えの生徒が多いことが影響していると考えられます。

土日の学校が休みの日に、1日あたりどれくらい勉強していますか



上記の設問と同じく、休日の学習時間について（学習塾や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）も県及び全国の平均と比べ少ない傾向が見られます。生徒の心身の健全な成長や学習意欲の向上に向け、学校生活はもちろんのこと、家庭で過ごす時間も含めた生活リズムの確立、時間の有効活用について引き続き考えさせ指導してまいりますので、保護者の皆様もご協力もよろしくお願いいたします。

大衡塾開催状況について (令和3年11月末現在)

資料6

1 開催予定について

(1) 土曜塾 (原則土曜日開催)

- ①小学5、6年生 : 国語・算数各45分×24日 (5年生2クラス、6年生1クラス開設)
- ②中学3年生 : 数学・英語各60分×17日 (基礎コース・応用コース開設)

(2) 火曜塾 (原則火曜日開催)

- ①中学1年生 : 数学・英語各45分×24日 (1クラス開設)
- ②中学2年生 : 数学・英語各45分×24日 (1クラス開設)

2 開催状況について

(1) 土曜塾 (対象: 小学5、6年生、中学3年生)

①受講申込者数

	小学5年生	小学6年生	中学3年生
開講時申込	32人	15人	19人
追加申込 (10/16~)	35人 (3人増)	18人 (3人増)	21人 (3人増)

②参加者数

開催数	開催日	5年生参加者数	6年生参加者数	3年生参加者数
1	7月31日(土)	31人	13人	11人
2	9月18日(土)	26人	13人	13人
3	9月25日(土)	27人	14人	
4	10月2日(土)	31人	12人	10人
5	9日(土)	24人	11人	9人
6	16日(土)	28人	17人	13人
7	23日(土)	26人	16人	
8	30日(土)			19人
9	11月6日(土)	28人	11人	13人
10	13日(土)	18人	16人	16人
11	20日(土)	23人	11人	8人
12	27日(土)	30人	13人	17人
平均参加者数		26.5人	13.4人	12.9人

(2) 火曜塾 (対象: 中学1、2年生)

①受講申込者数

	中学1年生	中学2年生
開講時申込	20人	22人
追加申込 (10/19~)	21人 (1人増)	24人 (2人増)

②参加者数

開催数	開催日	1年生参加者数	2年生参加者数
1	8月24日(火)	11人	13人
2	9月14日(火)	11人	17人
3	21日(火)	11人	15人
4	28日(火)	11人	14人
5	10月5日(火)	11人	13人
6	12日(火)	11人	15人
7	19日(火)	15人	17人
8	26日(火)	15人	19人
9	11月2日(火)	16人	17人
10	9日(火)	15人	17人
11	16日(火)	7人	14人
12	18日(木)	6人	5人
13	30日(火)	14人	12人
平均参加者数		11.8人	14.5人

※11月18日(木)はテスト直前対策講座として開催

令和3年度社会教育事業等実施状況

[資料7]

1. 青少年教育

中止した事業

令和3年12月24日現在

事業名	期日	対象者	備考
小学生合宿	7月9日(金)～ 11日(日)(2泊3日)	小学4年～6年(20名)	大衡城青少年交流館
子ども会リーダー研修会	6月12日(土) 3月19日(土)～ 20日(日)(1泊2日)	小学5・6年生(20名)	・公民館 ・宮城県松島自然の家
子ども会育成会全体行事	11月6日(土)	小学生と保護者	小学校体育館
子どもの居場所づくり事業	年間	小学生と地区住民	地域での支援活動
放課後子ども教室	年間	小学1年～4年	9月～11月
ジュニア・リーダー育成	年間	J・LCあかまつ会員5名	初級研修 6/26(土)～ 6/27(日)大和町日帰り/1 名参加 定例会

2. 家庭教育

事業名	期日	対象者	備考
大衡村家庭教育事業/子育て支援講座	10月1日(金), 11月 26日(金)	村民並びに村内在勤者	親子講座「フォトフレーム作 り」4名参加, 講話「もっと楽 しく親と子のコミュニケー ション」9名参加
大衡村家庭教育事業/親子ふれあい講座	12月20日(月)	村民並びに村内在勤者	健康福祉課の「ベビーの ゆったりタイム時ベビーマッ サージ」7組参加
大衡村家庭教育支援チーム「むらっこ」	4月～3月	家庭教育支援チーム員	研修会・定例会・家庭教育 支援
地域学校協働活動推進事業/小学校 ミシンボランティア	12月16日(木)～12 月17日(金)	小学生, 中学生	家庭・学校・地域の協働活 動 地域のボランティア

3. 公民館事業

事業名	期日	対象者	備考
大衡村新年会	令和4年1月7日(金)	一般村民	
大衡村成人式	令和4年1月9日(日)	成人者対象59名	中学校講堂

事業名	期日	対象者	備考
ファーストブック	4月～3月	新生児と保護者	大衡村読書推進計画に基づき、子どもの読書活動を推進するため、保護者が赤ちゃんと一緒に絵本を開く時間のきっかけ作りを目的として実施。村健康福祉課で実施している「こんにちは赤ちゃん訪問事業」において、アドバイスブックレットと、図書室利用案内を配布する。
セカンドブック	4月～3月	村3歳児健康診査受診者 3歳児と保護者	大衡村読書推進計画に基づき、子どもの読書活動を推進するため、3歳を迎えた幼児に家庭における読書習慣を身につけることを目的として実施。村健康福祉課で実施している3歳児健康診査において、絵本無料引換券を配布する。48名に配付、15名引換
多目的施設図書室	土日・祝祭日・年末年始を除く 平日9:00～17:00	全村民・在勤者 等	令和3年4月12日(月)オープン
お茶っこ会	4月～3月第3水曜日	村住民・村在勤者	公民館1階ホール/10月20日(水)のみ2名参加

4. 成人教育

事業名	期日	対象者	備考
植木剪定講座	7月8日(木)9名 8月4日(水)7名 9月8日(水)延期 10月6日(水)5名 11月25日(木)2名 参加	一般成人	7月～11月開催
健康マージャン講座	5回	一般成人	
大衡カレッジスクール	7月14日(水)5名 8月18日(水)5名 9月15日(水)5名 11月17日(水)6名 12月15日(水)4名 参加	一般成人	7月～12月開催

5. 社会体育

事業名	期日	対象者	備考
村民スポーツ・レクリエーション大会	6月20日(日)	一般成人	
第67回村民体育大会	9月5日(日)	幼小中学生・一般	
第38回歩け走ろう大会	10月10日(日)	幼児・小中学生・一般	
大衡村パークゴルフ交流会	10月31日(日)	村住民・村在勤者	

(スポーツ協会主催)

事業名	期日	対象者	備考
村民ゲートボール愛好者大会	7月1日(木)	一般成人	4チーム/優勝:衡北Aチーム
51回村民野球大会	9月19日(日)	連盟加盟チーム	
第12回村民グラウンドゴルフ大会	10月20日(水)	一般成人	
第39回村民ソフトボール大会	10月24日(日)	一般成人	
ニュースポーツ体験交流会	令和4年 2月20日(日)	村民	

(スポーツ教室)

事業名	期日	対象者	備考
スポーツ教室(運動能力向上)	10月~11月	小学生	
パークゴルフ教室	9月~10月	親子・成人一般	
ソフトテニス教室	12月12日(日)	小・中学生・村民	27名参加

6. 芸術文化

事業名	期日	対象者	備考
宮城県巡回小劇場	9月17日(金)	小学生全児童	
趣味の作品展	2月19日(土)~20日(日)	村民, 村内在勤者	個人出展のみ
芸術文化ふれあい事業(茶道教室)	5回(小学生夏季休業中に開催)	小学生	茶道教室
万葉おどり普及活動/月2回水曜日練習会	5月, 6月, 7月, 10月, 11月, 12月	小学生, 一般	会場: 公民館/小学生, 一般0名
	8月21日(土)	村民・村内在勤者	万葉おどりコンテスト

(文化協会主催)

事業名	期日	対象者	備考
文化協会発表会	11月23日(火) 勤労感謝の日	加盟団体	

(美術館企画展示)

事業名	期日	内容	備考
浅野忠信 「構築された風景」展	6月12日(土) ～ 7月11日(日)	仙台市泉区在住の洋画家	入館者436名
峰岡順 「心の中枢を描く」	7月22日(木) ～ 8月22日(日)	大崎市古川出身のモダンアート作家の作品を展示	入館者465名
森敏美作品展 「素材からの転化」	9月4日(土) ～ 10月11日(月)	大阪府出身で、元東北生活文化大学教授。ガラス、陶片、古木、古金属などで作られた造形作品を展示	入館者321名
佐藤 良作 靱山直子 桧垣孝二 「銅板への思い」展	10月16日(土) ～ 11月14日(日)	石巻在住で、銅板を巧みに操り制作された作品を展示。他2名の作品も展示	入館者329名
児童生徒絵画コンクール展	11月27日(土) ～ 12月27日(月)	富谷黒川地区の小中学校、高等学校等から作品を募集し展示	
スマホ大衡村百景展	2月5日(土) ～ 3月13日(日)	スマートフォンで撮影した大衡村の風景・生活・歴史などの写真を募集し展示	

※菅野廉常設展(通年)・ギャラリーコンサート(休止)

7. 地域活動

(すばらしい大衡を創る協議会主催)

事業名	期日	対象者	備考
花いっぱい運動	6月6日(日)	全村民	
令和3年度フラワーコンテスト	9月16日(木)	村内14行政区	10/18(月)表彰式 最優秀賞:松原地区 優秀賞:衡中東地区 優良賞:大瓜下地区、奥田地区 10/18(月)～各行政区にて写真展示
村民総ぐるみ清掃活動	11月7日(日) 3月20日(日)	全村民	可燃5,240kg, 不燃240kg, 缶200kg

令和3年度多目的施設図書室利用者等状況

R3.4.1～R3.11.30

区分	図書室利用者人数				図書貸出数				学習室利用人数			
	高校生～大人	小・中学生	幼児	計	高校生～大人	小・中学生	幼児	計	高校生～大人	小・中学生	幼児	計
4月	55	219	1	275	162	532	5	699	3	323	0	326
5月	63	191	1	255	194	529	4	727	1	277	0	278
6月	85	269	3	357	262	748	13	1,023	4	338	0	342
7月	96	152	13	261	269	469	53	791	4	184	0	188
8月	73	56	10	139	207	195	38	440	6	30	0	36
9月	34	32	8	74	88	106	36	230	0	0	0	0
10月	55	83	13	151	163	236	67	466	0	164	0	164
11月	55	80	11	146	187	232	51	470	0	132	0	132
12月												
1月												
2月												
3月												
計	516	1,082	60	1,658	1,532	3,047	267	4,846	18	1,448	0	1,466

趣味の作品展

作品募集

開催日：令和4年2月19日(土)
 ~20日(日)
 会場：大衡村公民館

対象者：村民又は、
 村内在勤者
 出品点数：1人3点まで

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場を縮小して開催しますので、ご理解とご協力をお願いします。

趣 旨：手作りによる趣味の作品を展示し、日頃の文化活動を発表する。

出品品目：書道 絵画 盆栽 生け花 手芸品 写真 川柳 短歌 陶芸 工作等

申込方法：申込書またはFAX・メールでお申し込みください。

申込受付：1月11日(火)~1月21日(金)

9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

作品搬入：2月17日(木)~2月18日(金) 9:00~19:00

搬入時に「出品票」を配布しますので、作品1点毎に「出品票」をつけてください。

作品搬出：2月21日(月)~2月22日(火) 9:00~19:00

主 催：大衡村教育委員会

問い合わせ：大衡村公民館

TEL 345-2197 FAX344-2597

メール koumin@village.ohira.miyagi.jp

開催中、健康マージャン
 体験コーナーあります。



令和3年度「趣味の作品展」作品申込書

※出品内容を丸で囲んでください。

書道 絵画 盆栽 生け花 手芸品 () 写真 川柳 短歌 陶芸 工作
 その他 ()

住 所	大衡村			年齢	歳
ふりがな			電 話		
氏 名					
サイズ	(縦)	cm×(横)	cm×(高さ)	cm	受付印
出展個数	点			公民館記入欄	